

# るるる



今号の表紙

Re・Loと(社)いくのもり

PICK UP

- 1 地域と歩いていく-Re-Lo-
- 2 みんな経験しました。悩んだり、汗かいた日

HELLO! NEW STAFF

鯉谷さんのひとりごと

# Re-Lo

## 地域と歩んでいく



主催したハロウィンイベントでは、(社)いくのりの金さんが所属するバンドの演奏も

町の行事に参加したり、イベントを主催したり、施設を会場として貸し出したり。チームRe-Loの活動について、それぞれの思いを聞きました。

餅つき大会、夏祭り、ハロウィンイベントなど、1年通してさまざまな行事に関わるRe-Lo。活動が始まったきっかけは、“地域の人がどんどん施設に入ってくる、そして入居者さんも外に出ていく機会を作れている”という他社の事例を知ったこと。「うちの施設もそんな場所にしたいと思い、Re-Loの活動を始めました」(発起人の鯉谷さん)。特養の閉鎖的な空間に苦手意識があり「入居者さんも地域で暮らす一員として、もっと多用に交流する機会を」という思いも後押ししたそうです。「活動を続けるうちに、町の人から声をかけられ、あいさつできる関係になりました。縁あってこの町に居宅の事務所があるので、本業でも町の人に相談にきてほしいという思いがあります」(ケアマネージャーの山本さん)。「Re-Loの活動は人と人との繋がりを感じることができ、やりがい

と達成感があります。これからも地域の方と もっとふれあい『特養は堅苦しい所じゃない』と知ってもらいたいですね」(ケアカレッジの貞森さん)。また、イベントの告知や運営を助けてくださる社団法人いくのりの木村さん・金さんは「生野区を盛り上げたい、地域のためにできることをしていきたいという思いがある。拠点が近く、ご縁があるので、これからも町を元気にしていけるように頑張っていきたいですね」と話してくれました。



Re-Loリーダー 鯉谷さん

メンバーは本業の傍ら、時間をやりくりして活動に参加しています。少しずつ地域とのつながりは広がり、地域へ貢献する活動も増えてきています。今後も地道に、活動を続けていきたいと思ひます!

### 地域と歩んでいく チーム Re-Lo (リーロ)

拠点：特別養護老人ホーム寿幸苑  
住所：大阪府大阪市生野区林寺4-13-14 /メンバー：5名



町を知るため写真付きの地図も作成



(社)いくのりのりの拠点で打ち合わせ

### るるる日誌 - 日々のできごと -



8月3日は、例年通り地域の夏祭りへ。林寺小学校と生野南公園でゲームの屋台を出店し、400人以上の人が来店! 知り合いが増え、声をかけて頂くことも多くなりました。



10月22日 寿幸苑で開催されたハロウィンイベントに、子連れのファミリー約90人強が参加。仮装した子ども達が苑内をまわり、入居者さんからお菓子をもらう交流の時間もありません。



12月6日 同志社大学の学生さんと協同で、非常食を使ったランチ会を開催。いつもお世話になっている地域の方や社協、婦人会、区役所の方など50人もの方が来てくれました。

# みんな経験しました。悩んだり、汗かいた日

日々の仕事では辛いことや自信を無くしてしまうこともあるでしょう。でも実は、勤続10年を超える先輩たちもいろいろ味わって、経験して、成長してきました。今回はそんなお話を紹介します。

聞いた人：寿幸苑、サボテンの花、ライフエル駒川の先輩たち



福田 勇士さん  
(寿幸苑6階)

## 【DATA】

専門学校に在学中、寿幸苑でアルバイトを開始。卒業後、当法人に入職。寿幸苑の複数フロア、デイサービス勤務を経て、現在に至る

## 呑んで、話して、その時できる解決策を探して

こだわりが強い入居者さんがいて、その方とのことが思い出深いです。介助の仕方に厳しくて、何かする度に口撃されたり、奇声を上げられたり。その方が原因で退職した職員もいました。でも僕は「どこの職場でも現場は似たようなものかも」という思いがあったし、職員間の仲が良かったので、よく呑みに行って気晴らししていました。あと、月日が過ぎるうちに自然と対処の仕方が分かってきたことも大きかったです。それよりきつかったのは、教えてくれる人がいない現場。初めてデイサービスで勤務した時、あまり学べる機会がなく相談できる相手もいなかったんです。その時は人事の人に相談しましたね。



約10年前、外出レク時の福田さん

## ●みなさんへ

悩んだり、つまづいたりすることがあると思います。僕の場合、何か悩んでいる時も同期や歳が近い先輩と出かけることで気が晴れたりしました。あと、同じ職場の人だお互いが知っている方や物事について話せるので「こうすれば良いと思うよ」ってアイデアをもらえたり。ひとりでは気付けないことも、ほかの人と話をすれば解決につながるヒントが見つかるかもしれないですね。



朝野 弓美さん  
(サボテンの花2階)

## 【DATA】

他法人の従来型特養で4年間勤務した後、当法人に転職。寿幸苑5階で勤務した後グループホーム サボテンの花へ異動。現在に至る

## まずはきちんと仕事、話はそれから

寿幸苑で働いていた頃、口が達者な入居者さんがいましたね。こちらがする介助へのチェックが厳しくて、気に入らないと、とにかく口撃されるんです。新人や若手の職員へは特に厳しくて、いびりのようなことをされたり、あらぬ噂を立てられたり。そのせいで更衣室で泣いている職員もいました。でも私は悔しかった分燃えて、お仕事をきっちりして口撃を受けないようにしようって。その方から言われた要望をふまえ、その次は言



寿幸苑勤務時の朝野さん

われないように備えることで信頼関係が築けました。すると、こちらに予先が向くことも無くなりましたね。それからは、ほかの職員をその方から守る余裕も出てきました。

## ●みなさんへ

私はハッキリしたタイプなので、仕事をきっちりこなした上で過剰な物言いや納得がいかないことには毅然とした対応をしてきました。でも、もちろんそうできない時やタイプの人もいると思います。そんな場合は、やっぱりほかの職員さんに相談するのが一番。相談できる人が近くにひとりでもいれば、自分だけでモヤモヤ悩んでいるよりも良い解決策が見つかりやすいと思います。



武藤 京子さん  
(ライフエル駒川7階～11階)

## 【DATA】

他法人の従来型特養で2年間勤務した後、当法人に転職。寿幸苑、デイサービス勤務を経て、ライフエル駒川へ異動。現在に至る

## きちんとその人を見て、自分にできることを

寿幸苑で働いていた時、ショックだったことがあって。ある入居者さんが、血圧の異常もなく普通にお過ごしだったのに、食後に容体が急変したんです。ほかの入居者さんがその方の異変に気付いて教えてくれたんですが、脳梗塞でした。「様子観察ができていなかったな」「見守りをきちんとしてあげていたら」と後悔しました。その後、別のフロアでは暴力や暴言がひどい方がいて。初めは「気持ちが伝わらない」と感じていましたが、関わるうちに、その方の良さや何を訴えているかが分かり、良い関係が築けました。「様子観察の大切さ」を痛感したこともあり、その方にしっかり向き合えていたと思います。



寿幸苑勤務時の武藤さん

## ●みなさんへ

何かひとつ、目標や「自分にしかできないこと」を決めて仕事に励むのはどうでしょうか？職員が元気な方が入居者さんも嬉しいと思います。ひとりで思い悩まず、何かあれば先輩に相談したり、先輩の動きを観察したりすることで自分のスキルとして身につけていけたら良いですね。あとは、職場の仲が良い人と呑みに行ったり、友達と遊びに行ったりしてリフレッシュするのも大切です！

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれたさまざまな活動を紹介します。

## 1 Re-Lo、非常食活用ランチ会を開催

日時：12月6日（金） 場所：寿幸苑

地域の人との交流活動に励むチーム Re-Lo (Re-Local)が、同志社大学の学生さんとランチ会を共催。賞味期限が切れそうな非常食をプロのシェフに調理していただき、手の込んだアレンジ洋食として町の人に振るまいました。



## 2 生け花レクで、お正月の花を

日時：12月27日（金） 場所：ライフエル駒川

月に一度コミュニティスペース「イマ」で開催される生け花レク。年の瀬の今回は、お正月に飾るための花を準備。白葉ボタンや金銀柳、枝若松など華やかなラインナップの草花を、入居者さんそれぞれのペースで生けていました。



## 3 初詣と、絵馬と、ご祈祷と

日時：1月2日（木）～ 場所：寿幸苑

年末、レク委員会が娯楽室に神社を手作り。年明けから各フロアの入居者さんが順番に参詣し、絵馬に願い事を書きました。また、永山さん・中西さん・堀さんが一日神主さんに変身し、今年一年の健康とご多幸をお祈りしました。



## 4 近くの神社へ初詣

日時：1月11日（土）～ 場所：サボテンの花

グループホーム サボテンの花では、今年も入居者さんと行く初詣を計画。予定していた日に雨が降って延期になることもありましたが、段取りを組みなおし、数班に分かれて近くの中井神社へお詣りに行きました。



## Hello! NEW STAFF



ケアワーカー  
岡田 陽子さん  
(寿幸苑)



ナース  
平田 美幸さん  
(寿幸苑)

AND  
MORE!

事務

濱岡 多栄さん  
(ライフエル駒川)

## SNSも更新中!

浪速松楓会のいろいろな情報を、ゆるーく発信中! 社内報では伝えきれない日常の様子や取り組みを紹介しています。気軽にのぞいて、気が向いたらイイネしてください♪



鯉谷さんの



ひとりごと

No.004

## 最近うれしいこと

最近うれしいことが2つある。1つ目は、少しずつ法人が目指したい方向に向かって、確かな歩みを進めていると実感していること。それぞれの現場で「自分たちがすべきことは?」「良いケアって何?」「どうやって実現する?」など、様々な問いに向き合い始めている。ケアの目的は、高齢者を安全のために管理することではない。彼らの人生は彼らのもの。ラスト10年間の命の使い方は僕たちが決めてはいけない。僕たちの仕事は彼らがそれぞれ望まれる生き方を一緒に確認し、その実現のために出来ることを

考え、実行することだ。そこに向き合う萌芽を感じられたことがうれしく思う。2つ目は、自分の意見の表明やチャレンジする職員が少しずつ増えてきていること。すごく恐いことだと思う。「何が言われたらどうしよう」「失敗したらどうしよう」いろんな不安がある。法人では、職員がそんな不安なく、チャレンジや意見を出せるような職場を目指したいと考えている。変えるプロジェクトにもいろんな批判もあるが、また反省し修正していこうと思う。目指すことは変わらない。まだまだチャレンジしていきたい。